社会福祉法人

栃木市社会福祉協議会

組　織

1　事務所の所在地
　栃木市今泉町２丁目１番４０号
　（大平支所：栃木市大平町真弓１３９６番地）　（藤岡支所：栃木市藤岡町藤岡８１０番地）
　（都賀支所：栃木市都賀町家中２３５７番地）　（西方支所：栃木市西方町元１６０１番地１）
　（岩舟支所：栃木市岩舟町三谷１０３８番地１）

2　名称及び代表者
　社会福祉法人　栃木市社会福祉協議会　会長　小林一成

3　役員及び職員等（令和４年４月１日現在）
　理事：１２名（うち、会長１名・副会長３名・常務理事１名）、監事：２名、評議員：２６名
　職員：２０９名（内、登録ヘルパー４４名）

F：=FAX

- 事務局長 22-4457
  - 事務局次長 22-4457
    - 法人運営課 22-4457　F: 22-4467
      - 法人運営係 22-4457
      - 総　務　係 22-4457
    - 地域福祉課 22-4457　F: 22-4467
      - 地域福祉係 22-4457
        - とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会（長寿園内）　23-5181 F:23-5181
      - 生活支援係 51-7785
        - とちぎ市くらしサポートセンター「くらりねっと」　51-7785 F:22-4467
      - 権利擁護係 22-4501
        - 栃木市成年後見サポートセンター　22-4501 F:22-4467
        - 日常生活自立支援事業「あすてらす」　20-7755 F:22-4467
    - 福祉サービス課 51-2663
      - 在宅福祉係51-2663
        - 北部ヘルパーステーション　51-2188 F:51-2663
        - 介護認定調査センター　51-2663 F:51-2663
        - 相談支援事業所社協とちぎ　51-2663 F:51-2663
        - キッズホームとちぎ　22-4481 F:51-2663
      - 施設管理第一係
        - 老人福祉センター長寿園　22-0333 F:22-0361
        - そのべ児童館　20-6231 F:20-0361
        - 栃木第六地区コミュニティセンター　22-0333 F:22-0961
      - 施設管理第二係
        - 老人福祉センター福寿園　31-3666 F:31-0875
        - デイサービス福寿園　31-3666 F:31-0875
    - 大平支所 43-0294　F: 43-0644
      - 大平支所係 43-0294
        - 障がい者等移送サービス事業　43-0294 F:43-0644
        - 社協ケアプランセンター　45-1166 F:43-0555
        - 南部ヘルパーステーション　45-2941 F:43-0555
        - 大平高齢者デイサービスセンターまゆみ　45-1726 F:45-1338
    - 藤岡支所 62-5861　F: 62-5869
      - 藤岡支所係 62-5861
        - 藤岡地域活動支援センター　62-1660 F:62-1660
    - 都賀支所 28-0254　F: 28-0323
      - 都賀支所係 28-0254
        - 就労継続支援事業所いちごの郷　28-0252 F:28-0323
        - 都賀地域活動支援センター　28-0252 F:28-0323
    - 西方支所 92-8080　F: 92-8351
      - 西方支所係 92-8080
        - 高齢者配食サービス　92-8080 F:92-8351
        - 西方児童クラブ　92-8080 F:92-8351
        - 真名子児童クラブ
        - デイサービス真名子　92-0909 F:92-0919
        - 西方ふれあいプラザ　92-0800 F:92-0800
    - 岩舟支所 55-2438　F: 55-5590
      - 岩舟支所係 55-2438

事業の概要

令和４年度に入り、新型コロナウイルス感染症は未だ収束の気配を見せず、本会の活動に制限が続く中、昨年度に引き続きイベントの中止やオンライン化などの対応を余儀なくされた。しかしながら、令和２年度に始まった経営改善プロジェクトチームや各ワーキンググループの活動は引き続き継続し、経営状況の改善を目指す取り組みを進めた。

経営状況を改善するための取り組みとして､引き続き経費の削減に努めるとともに、令和４年度には、サービス提供事業所を統合し、新たな取り組みとして重層的支援体制整備事業や要介護認定調査事業の新規受託など、経営の改善に取り組んだ。

また、経営改善に向けた取り組みの一環として、職員育成方針や職員採用方針等の策定に努めた。これらの取り組みは、即時に経営状況に反映されるものではないが、職員一人ひとりが経営に危機感を持ち、積極的に取り組むことで、将来的には経営の安定化に寄与する。

１　住民による見守り支え合い活動への支援

(1)　重層的支援体制整備事業・生活支援体制整備事業の実施

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の整備を行うため、重層的支援体制整備事業（コミュニティ・ソーシャルワーカー）及び生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）を受託し、各種地域福祉活動を行った。

ア　地区懇談会の開催（地域福祉課、各支所）

地域におけるニーズの把握、生活福祉課題の明確化を進めるとともに、地域住民同士の情報共有を促進することを目的に、各地区社協等に働きかけ、懇談会や懇談会につながる勉強会等を開催した。

（計３０回、延べ参加人数７７２人）

開　催　日	地区社協等	テーマ	参加人数
令和４年 ５月１７日(火)	大平地域南地区	認知症について オレンジカフェの取り組みについて	２４人
５月２５日(水)	国府地区・大宮地区介護・障がい福祉サービス事業所	ＳＯＳゲームを通じた社会資源の把握	１９人
６月２９日(水) ６月３０日(木)	大宮地区	気にかけあう地域づくり～地域のお宝を発見しよう～	８５人
７月２７日(水) ９月２８日(水) １１月２９日(火)	藤岡地域三鴨地区	地域を知り、地域の課題について考える。 先進事例（移動支援）を踏まえた勉強会	８６人
７月　４日(月)	第七地区	認知症になっても住みやすいまちのために （事例検討・グループワーク）	２５人

７月　５日（火）	国府地区	地域の支えあいについて～地域資源の見える化～	３５人
７月　５日（火）	第五地区	認知症になっても住みやすいまちのために （事例検討・グループワーク）	２５人
７月　７日（木）	第四地区	認知症になっても住みやすいまちのために （事例検討・グループワーク）	２７人
７月２１日（木）	大平地域東地区	認知症について オレンジカフェの取り組みについて	２５人
７月２２日（金）	寺尾地区	買い物支援について	２５人
８月　６日（土）	第三地区	認知症になっても住みやすいまちのために （事例検討・グループワーク）	２２人
８月　９日（火）	第一地区	成年後見制度と日常生活自立支援事業について	３８人
９月　３日（土）	第二地区	認知症になっても住みやすいまちのために （事例検討・グループワーク）	２０人
１０月２７日（木）	吹上地区	認知症の人にやさしいまちづくりを目指して	１３人
１１月　９日（水） １１月１０日（木）	大宮地区	生き生きはつらつセンターの紹介・概要説明 ～福祉ｓｏｓ（社会資源・お悩み・相談）ゲーム	７１人
１１月１０日（木）	大平地域南地区	協議体で出された課題について	１８人
１１月２１日（月）	国府地区	「地域の居場所について考える」 ～福祉ｓｏｓ（社会資源・お悩み・相談）ゲーム	２２人
１２月２２日（木）	大平地域西地区	地区懇談会・協議体・オレンジカフェについて	２２人
令和５年 １月１９日（木）	大平地域東地区	東地区日常生活圏域地域ケア会議と協議体の関係 グループワーク	２５人
１月２６日（木）	都賀地区	高齢者が安心して暮らしていける地域にするために	２４人
２月　７日（火）	皆川地区	住み慣れた地域で高齢者が自分らしく生きるまちを作るために（団体紹介・サービス紹介・皆川地区の現状と課題）	２８人
２月１４日（火）	寺尾地区	高齢者の買い物弱者等の現状と課題について 意見交換（グループワーク）	１７人
２月１５日（水）	西方地区	高齢者が地域で安心して生活できるために	２６人
２月２０日（月）	吹上地区	認知症の理解不足の解決のための認知症サポーター養成講座についての打合せ	５人
２月２７日（月）	国府地区・大宮地区介護・障がい福祉サービス事業所	重層的支援体制整備事業について	２６人
３月１６日（木）	大平地域西地区	地区懇談会・協議体・オレンジカフェについて	１９人

イ　地区社会福祉協議会への支援強化（地域福祉課、各支所）

地域の状況に応じた福祉活動（交流事業や見守り活動等）を推進している地区社会福祉協議会の運営費及び事業費への補助、事業実施に係る相談への対応、事務支援を行った。

ウ　地区社会福祉協議会連絡会の開催（地域福祉課）

地区社会福祉協議会（１７地区）の組織強化や連携を深めることを目的に、地区社会福祉協議会連絡会を令和４年９月２６日（月）、全国コミュニティライフサポートセンター理事長 池田昌弘氏を講師に迎えて講演会および事例発表、情報交換会を行った。

エ　地区社会福祉協議会役員研修会の開催（地域福祉課）

例年、地域の福祉課題の把握や共通認識、地区社会福祉協議会役員の一層の意識向上を図ることを目的に、令和５年３月１０日（金）、地域支えあい講座と併せて、講演会「住民主体の地域づくりと支えあい」及び「キラッと輝く栃木市のお宝発表会」を行い、地域でのつながりの重要性の共有を図った。

オ　コミュニティカフェの実施（地域福祉課）

年齢や障がいの有無に関わらず、地域のあらゆる住民が自分らしく、それぞれに役割を持ちながら参加できる「地域共生社会」を目指し、地域住民の交流の場・相談の場を目的としたコミュニティカフェを実施した。

(ｱ)　オレンジカフェ

実施回数　　１２回（毎月第３金曜日）
場所　　ヤオハン城内店ふれ愛ひろば
内容　　ミニ演奏会、語り部、脳トレ、介護等に関する勉強会等
延べ参加人数　３５１人
相談件数　　５件（高齢２件、生活困窮１件、その他２件）

(ｲ)　出張版オレンジカフェ（ヤオハン城内店以外での実施）

実施回数　　２３回
場所　　大宮公民館、大宮市営住宅集会室
内容　　認知症紙芝居、語り部、映画鑑賞、シナプソロジー、
　　折り紙、コンサート等
延べ参加人数　３４３人

(ｳ)　オレンジカフェ　ＤＥ　ＴＯＣＨＩＣＯリサイクル

『ＴＯＣＨＩＣＯ日和』（とちぎに住むママのためのフリーペーパー）と共催し、子ども服のリサイクルや障がい者施設のパンの販売等を行った。

また、子ども服の売り上げの半分は赤い羽根共同募金の寄附へとつながった。

実施回数　　１５回
場所　　都賀支所、岩舟公民館、小江戸ひろば北蔵
内容　　リサイクル・福祉施設による物品販売
延べ参加人数　１，０１７人
寄附総額　　２１５，７００円

カ　地域のオレンジカフェ（認知症カフェ）への協力（大平支所、都賀支所、西

方支所）

認知症の人だけでなく、誰でも安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、地域の社会福祉法人等が実施するオレンジカフェへの協力（実施当日の運営協力等）を行った。

大平支所　協力回数　１６回（実施当日の運営協力）
　　オレンジカフェ延べ参加人数　５９５人
都賀支所　協力回数　　６回（令和５年４月開催に向けた準備・打ち合わせ）
　　準備・打ち合わせ延べ参加人数　１１５人
西方支所　協力回数　　５回（実施当日の運営協力）
　　オレンジカフェ延べ参加人数　１０２人

キ　まなごサロンの実施（西方支所）

地域の一人暮らし高齢者等の引きこもり防止や、生きがいづくりを目的に、デイサービス真名子内の空き部屋を活用したサロン事業を実施した。

実施回数　　２３回
実利用人数　　６人
延べ利用人数　８７人

ク　親子ふれあいサロンの実施（地域福祉課）

自宅では体験できない遊びや他の参加者・スタッフとの交流により、子育ての不安や悩みを話し合い、子育てを楽しみながらの仲間づくりを目的に、親子ふれあいサロンを実施した。

実施回数　　１１回
実参加人数　　７１人（親３４人、子３７人）
延べ参加人数　４８３人（親２２９人、子２５４人）

ケ　地域福祉サポーター養成講座の開催（地域福祉課）

年齢や障がいの有無に関わらず、すべての地域住民が自分らしく、それぞれに役割を持ちながら、社会参加できる「地域共生社会」を目指し、地域福祉の担い手の育成を目的に、地域福祉サポーター養成講座を開催した。

(ｱ)　「支えあいや地域のお宝（活動）探し」について

開催日　　令和４年６月２１日（火）、６月２８日（火）、７月１２日（火）
場所　　国府公民館　大交流室
講師　　全国コミュニティライフサポートセンター
　　理事長　池田昌弘氏
受講人数　３８人

(ｲ)　オンライン de お宝発表会

開催日　　令和４年８月１９日（金）
場所　　キョクトウとちぎ蔵の街楽習館４階会議室（オンライン）
講師　　全国コミュニティライフサポートセンター
　　理事長　池田昌弘氏
受講人数　９人

コ　地域支えあい講座「キラッと輝く 栃木市のお宝発表会」の開催（地域福祉課）

住み慣れた地域で安心して暮らすことができる「支えあいの地域づくり」を目的に、地域で行われている支えあい活動（地域のお宝）の発表会を開催した。

開催日　　令和５年３月１０日（金）

場所　　栃木市岩舟文化会館　中ホール

内容　　【第１部】講演会　住民主体の地域づくりと支えあい

【第２部】キラッと輝く栃木市のお宝発表会

講師　　全国コミュニティライフサポートセンター

理事長　池田昌弘氏

参加人数　２００人

サ　チームオレンジへの支援（大平支所）

認知症の人等が安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し活動しているチームオレンジの活動支援を行った。

支援回数　　１７回

シ　認知症徘徊高齢者等声かけ模擬訓練の実施（大平支所）

地域力の向上及び認知症高齢者等に対する地域住民の理解を深めることを目的に、認知症に興味のある親子等を対象に声かけ模擬訓練を実施した。

実施日　　令和４年１１月２０日（日）

場所　　ふるさとふれあい館

参加人数　３８人

ス　地域サロン支援事業の実施（大平支所、都賀支所）

市民が中心となって実施する地域サロンの支援を目的に、レクリエーション機材の貸し出しや協力ボランティアの調整を行った。

セ　協議体活動への支援（地域福祉課、大平支所、岩舟支所）

「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりの強化を図ることを目的に、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる協議体活動を支援した。

【各協議体の活動状況】

地域	活動の状況
大宮	第２層協議体 ・協議体会議（２回、延べ参加１５６人）
国府	第２層協議体 ・協議体会議　（２回、延べ参加人数５７人）
大平	第３層協議体（大平南地区） ・協議体会議　（１１回、延べ参加人数１１０人） ・男性介護者の集い（チームオレンジとの協働事業）の実施（１回、参加人数１４人） ・福祉の相談会（チームオレンジとの協働事業）の実施（１回、参加人数２２人） ・オレンジカフェのＰＲ活動（近隣自治会チラシの配布） 第３層協議体（大平東地区）

	・協議体会議（４回、延べ参加人数４４人） ・福祉の相談会（チームオレンジとの協働事業）の実施 （１回、参加人数２３人）
岩舟	第２層協議体 ・協議体会議（２回、延べ参加人数７２人） 第３層協議体（静和） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数２７５人） ・買物支援送迎サービス事業の実施（３８回） ・集い・ふれあい・ちょこっと相談の実施（１回） ・通学路現場点検の実施（２回） 第３層協議体（岩舟） ・協議体会議（１１回、延べ参加人数２００人） ・あいさつ運動の実施（毎月） ・見守りボランティア交流会の開催（１回） ・塗り絵を通した世代間交流事業の実施 ・行事や祭礼に関するローカルマップの発行（２回） ・高齢者見守り活動（傾聴研修会）の実施（１回） 第３層協議体（小野寺南） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数１５２人） ・イエロータウン運動（三谷地域）の実施（毎月） ・わがまるスポーツ交流会の開催（１回） ・わがまる通信の発行（２回） 第３層協議体（小野寺北） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数２２８人） ・オレンジタウン運動の推進（４回） ・ふるさと小野寺かるたの作成 ・災害時における要支援者への支援等に関する検討 その他（研修会等） ・４協議体リーダー等会議（２回、延べ参加人数４０人） ・岩舟会議（１回、参加人数１８人） ・地域協議体情報交換・研修会の開催（１回、参加人数３１人）

(2)　地域福祉への理解と関心を高める広報啓発活動

ア　広報紙の発行やホームページ・フェイスブックの運用（地域福祉課）

ふくぴーだよりの発行（年６回）やホームページ、フェイスブックを通し、本会の事務事業を始めとした福祉に関する情報を広く市民に提供した。

イ　マスコットキャラクターの貸し出し（地域福祉課）

本会の認知度を上げることを目的に、マスコットキャラクター「ふっくん・ぴーちゃん」を活用してイベントへの貸し出しを行った。

区分	件数	イベント

貸出	１件	認知症徘徊模擬訓練

ウ　福祉功労者等表彰式の開催（法人運営課）

永年福祉活動に携わっている方等、福祉の向上に功績のあった方へ表彰状や感謝状を贈呈予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰式は中止した。

受賞者　　個人７９人（民生委員児童委員４２人、社会福祉施設団体等２５人、ボランティア１１人、永年寄附１人）
　　団体６団体（優良団体２団体、大口寄附４団体）

エ　各種イベントの開催、協力

福祉やボランティア活動に関する啓発活動､市民の交流を図ることを目的に、福祉まつりの開催、地域の各種イベントへの参加を予定していたが新型コロナ感染拡大防止のため中止や実施内容を変更した。

(ｱ)　ふれあい福祉作品展（大平支所）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業内容を作品展示会に変更し開催した。

開催日　令和４年５月２１日（土）、２２日（日）
場所　　ふるさとふれあい館
内容　　ボランティア団体の活動紹介及びふれあい館利用団体作品展示

(ｲ)　藤岡ふくしまつり（藤岡支所）

令和４年１０月１６日（日）に予定していた藤岡ふくしまつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(ｳ)　岩舟健康福祉まつり（岩舟支所）令和４年１０月１６日（日）に予定していた岩舟健康福祉まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(3)　市民同士の活動の促進

ア　ふれあい在宅福祉サービス事業の実施（地域福祉課、各支所）

住民同士の助けあい活動を高齢者や障がい者等への在宅福祉サービスに結び付けた住民参加型の在宅福祉サービス事業を実施した。

登録者数	協力会員　９１人、利用会員	１０６人
派遣回数		１，４３１回
（内訳）	家事援助	１，０４３回
	身の回りの軽度の世話	１２７回
	外出の付き添い	８０回
	留守番・話し相手	５７回
	買い物	１２４回

イ　福祉団体等の運営支援

(ｱ)　とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会事務局（地域福祉課）※受託

市内のシニアクラブ支部同士の円滑な運営と事業の推進を図るため、職員がとちぎ蔵の街シニアクラブ連合会の事務局業務に従事した。

(ｲ)　福祉団体等の事務局及び活動支援（地域福祉課、各支所）

福祉団体の運営を支援するため、下記の福祉団体の事務局を担うとともに、地域における福祉活動の推進を図るため、市内の福祉団体やボランティア団体の活動に対する補助を行った。（４５団体）

また、榎本ふれあい交流会等、職員派遣等の協力を行った。

課支所名	団体名
地域福祉課	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会及び同栃木支部
大平支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会大平支部、栃木市身体障害者福祉会連合会大平支部、大平地区社会福祉協議会
藤岡支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会藤岡支部、栃木市身体障害者福祉会連合会藤岡支部、栃木市藤岡地域活動支援センター親の会、藤岡町給食ボランティアの会、藤岡地区社会福祉協議会、藤岡町傾聴ボランティア「ひだまり」
都賀支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会都賀支部、栃木市身体障害者福祉会連合会都賀支部、都賀町心身障害児者父母の会、傾聴ボランティア「かたつむりの会」、栃木市都賀手話サークル「スマイル」、都賀地区社会福祉協議会、いちごの郷・なかよし保護者会、読み聞かせボランティア「なかよし」、まちづくりネットワーク「つが」
西方支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会西方支部、西方町知的障害者育成会、西方町介護者の会、西方町ボランティア連絡協議会、一人暮らし高齢者の会、西方地区社会福祉協議会、西方地区社会福祉協議会真名子支部
岩舟支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会岩舟支部、栃木市身体障害者福祉会連合会岩舟支部、岩舟地区社会福祉協議会、岩舟町傾聴ボランティア「ぴーちゃん」

ウ　世代間交流事業の推進（地域福祉課）

児童と高齢者の世代間交流を推進するため、世代間交流事業を実施するシニアクラブを募り、事業実施の補助を行った。（１８クラブ）

エ　ふれあい交流事業の実施（地域福祉課）

障がいのある方もない方も一緒に交流することで、地域に住む人々が互いの理解を深め、助けあいの気持ちを育むことを目的に、交流事業を実施した。

実施日　　令和４年１１月２６日（土）

場所　　栃木市内（栃木市役所周辺）

内容　　街並みウォーキング

参加人数　６８人（一般４０人、ボランティア２１人、職員７人）

オ　地区社協等のいきがいサロン、子育てサロンへの補助

(ｱ)　いきがいサロン事業の推進（地域福祉課）

一人暮らし高齢者等の引きこもり防止や生きがいづくりを目的に、いきがいサロン事業を実施する地区社会福祉協議会への補助を行った。（５団体）

(ｲ)　子育てサロン事業の推進（地域福祉課）

子育て家庭の親子の交流や育児に関する情報交換、仲間づくりを行う場の提供など、育児に対する不安の解消を目的に、子育てサロン事業を実施する地区社会福祉協議会への補助を行った。（２団体）

カ　弁当宅配（給食）サービスの実施（大平支所、西方支所）

地域の一人暮らし高齢者等を対象に、民生委員児童委員等の協力を得て、弁当の調理と宅配を実施した。

	大平支所	西方支所
実施回数	１２回	２４３回
実利用人数	２６人	３３人
延べ配食数	２９９食	２，０６１食

キ　会食会（サロン）の実施（藤岡支所）

地域の一人暮らし高齢者を対象とした会食会（サロン）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会食を中止し、短時間のレクリエーション活動を行った。

実施回数　　１２回

延べ参加人数　　２０１人

延べ協力人数　　１７１人（送迎・運営ボランティア、講師等）

ク　点字本宅配サービス事業の実施（地域福祉課）

視力障がい者の情報収集に資するため、点字ボランティアの協力を得て、点字本の宅配サービスを実施した。

貸出回数　１２回　　貸出冊数　３６冊

ケ　マイクロバスの貸し出し（地域福祉課）

福祉団体等の活動を支援することを目的に、本会が所有するマイクロバスの貸し出しを行った。（貸出回数　１７回）

(4)　福祉サービスの提供

ア　児童関係

(ｱ)　放課後児童健全育成事業（西方支所）※受託

放課後児童の健全育成と保護者の就労支援を目的に、西方児童クラブ・真名子児童クラブ運営事業を実施した。

	西方児童クラブ	真名子児童クラブ	計
開　設　日	月～土（祝日、年末年始除く）		－
開設日数	２８９日	２５２日	－
実利用人数	７５人	２０人	９５人
延べ利用人数	１１，２２０人	２，６１６人	１３，８３６人

(ｲ)　障がい児サロンの実施（福祉サービス課）

障がい児を持つ家庭が抱える子育ての相談や指導を行うとともに、保護者同士の情報交換や親子の仲間づくりの場を提供することを目的に、キッズホームで障がい児子育てサロン（音楽療法）を開催した。

開催回数　　９回

※他、新型コロナウイルス感染拡大防止、会場都合により３回中止

実参加人数　　３４人(大人１６人、子ども１８人)

延べ参加人数　１８５人(大人８８人、子ども９７人)

講音楽療法士　関根雅子氏

ボランティア１名

内容　　季節の歌に合わせて楽器の音を楽しむ。

歌に合わせて身体活動を行う。

イ　高齢者関係

(ｱ) 車椅子貸出事業の実施（地域福祉課、各支所）

車いすを必要とする方の屋内外移動の負担軽減を図ることを目的に、車いすの貸し出しを行った。

	本所	大平支所	藤岡支所	都賀支所	西方支所	岩舟支所	計
貸出回数	１０４	６８	３７	１７	３８	３８	３０２

(ｲ) 車椅子移送車貸出事業の実施（地域福祉課、各支所）

車いすを利用する高齢者や身体障がい児者の外出時（通院、通所、外出等）の負担軽減を図ることを目的に、車いすのまま乗降できる車両の貸し出し（燃料費のみ実費負担）を行った。

（計４０６回、実利用人数１１９人）

	貸出回数	貸出日数	実利用人数
本　　所	８９回	１２４日	２６人
大平支所	６０回	１０１日	２５人
藤岡支所	８０回	１２３日	９人
都賀支所	８１回	９２日	２４人
西方支所	７２回	８０日	１７人
岩舟支所	２４回	５７日	１８人

(ｳ)　地域包括支援センター運営協力業務の実施（法人運営課）※受託

職員５人（社会福祉士３人、介護支援専門員２人）が、栃木市内の地域包括支援センターの業務に従事した。

(ｴ)　高齢者配食サービス事業の実施（西方支所）※受託

６５歳以上の一人暮らし、高齢者のみの世帯、これに準ずる世帯の方で、食材の確保や調理が困難な方を対象に、弁当の調理と宅配を実施した。

実施回数　　２４３回

実利用人数　　１１人

延べ配食数　１，２６６食

(ｵ)　西方ふれあいプラザ及び西方さくらホーム利用者送迎事業の実施（西方支所）※受託

西方ふれあいプラザ及び西方さくらホームの利用促進を図るため、利用者

をマイクロバスで送迎した。

運行日　　月曜日から土曜日（祝日、年末年始除く）

運行日数　　２９１日

延べ利用人数　３，０８６人（往復）

ウ　障がい者関係

(ｱ)　障がい者等移送サービス事業の実施（大平支所）

公共交通機関の利用が困難な方を対象に、車いすやストレッチャーの使用等による市外の医療機関への通院、入院等の移送サービスを実施した。

運行日数　　１８５日

実利用人数　　５４人

延べ利用人数　　６１６人

(ｲ)　栃木市障がい児者相談支援センター事業の実施（法人運営課）※受託

障がい者相談支援専門員として職員３人が、栃木市障がい児者相談支援センターの業務に従事した。

(ｳ)　障がい者等移動支援事業の実施（福祉サービス課、大平支所）※受託

屋外での移動が困難な障がい者等を対象に、自立生活及び社会参加促進のため、ホームヘルパーによる外出支援を実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	１人	２人	３人
派遣回数	４７回	３５回	８２回
派遣時間	４７時間	２２時間４５分	６９時間４５分

エ　その他

(ｱ)　法律相談の実施（弁護士）（大平支所）

法律問題に関する市民の相談に対し、専門家である弁護士が助言等を行った。

実施日　　毎月第１、第３火曜日（午前９時から正午）

場所　　ふるさとふれあい館

相談件数　９９件

（相談内訳）

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数
不動産（土地等）	２２件	金銭トラブル	１６件	家族	８件
相続	１５件	離婚	６件	近隣トラブル	２件
事故	６件	職業・生業	５件	その他	１９件

(ｲ)　産前産後ヘルパー派遣事業の実施（福祉サービス課）

日中、家事及び育児を行う者が他にいない妊婦又は日中、家事及び育児を行う者が他にいない出産後６月未満の女子若しくはその配偶者並びに多胎妊婦又は多胎児出産後２年未満の女子若しくはその配偶者等を対象に、家事及び育児の負担軽減を図ることを目的に、ホームヘルパーによる家事や育児の支援を実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	３人	０人	３人
派遣回数	２２回	０回	２２回
派遣時間	２２時間	０時間	２２時間

(5)　栃木市地域福祉活動計画の推進（地域福祉課）

地域福祉活動計画を円滑に推進することを目的に、行政とともに栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進懇談会を令和４年６月３０日（木）に開催し、当該計画の進捗管理および評価を行った。

２　ボランティア活動への参加促進と支援

(1)　ボランティアセンターの運営

ア　ボランティアの相談・登録（地域福祉課、各支所）

より多くの市民が気軽にボランティア活動へ参加できるようにするため、ボランティアの発掘、育成等の基盤づくり、ボランティアに関する相談等を行った。

相談件数　１６１件（内訳：活動希望者３３件、活動（協力）依頼８２件、その他４６件）

登録数　　個人９０人、団体１７６団体

イ　ボランティア保険への加入促進（地域福祉課、各支所）

ボランティア活動中のケガや賠償責任を補償するボランティア活　動保険、及びボランティアグループや福祉団体の行事中の事故を補償するボランティア行事用保険を受け付けた。

保険の種類	加入件数
ボランティア活動保険	団体：１３３団体（２，４７４人）、個人：２２人
ボランティア行事用保険	１５０件

(2)　人材育成

ア　手話講座の開催

(ｱ)　手話奉仕員養成講座の開催（地域福祉課）

聴覚に障がいのある方へ情報を手話で伝えるボランティアの養成と障がい者への理解を深めることを目的に、手話奉仕員養成講座を開催した。

受講人数　　１６人

(ｲ)　手話のミニ講座の開催（地域福祉課）

福祉やボランティア活動への関心と理解を高めることを目的に、聴覚に障がいのある方の情報伝達手段のひとつである手話のミニ講座（全１０回）を開催した。

受講人数　　１２人

イ　傾聴ボランティア養成講座の開催（地域福祉課）

相手の気持ちに耳を傾け、共感し、受け止めるポイントを学び、何か人の役に立ちたいと考えている住民の方の傾聴ボランティア活動に取り組むきっかけ

づくりを目的に傾聴ボランティア養成講座を開催した。

開催日　　令和４年９月１６日（金）、２２日（木）、３０日（金）

場所　　栃木保健福祉センター　レクリエーションルーム

講師　　栃木県傾聴ボランティア連絡協議会会長　黒川貢氏

受講人数　１１人

ウ　配食ボランティア養成講座の開催（大平支所）

配食サービス事業の調理に携わるボランティアの養成を目的に、配食ボランティア養成講座を開催した。

開催日　　令和４年９月８日（木）、１７日（土）

場所　　ゆうゆうプラザ調理室

受講人数　１４人

エ　ふれあい在宅福祉サービス協力員研修の開催（地域福祉課）

ふれあい在宅福祉サービスについての理解や関心を高め、参加活動を推進するとともに、協力会員の増加にもつなげることを目的に、協力員を対象とした研修会を開催した。

開催日　　令和４年９月２日（金）

場所　　キョクトウとちぎ蔵の街楽習館　大交流室

講師　　整理収納アドバイザー・収育指導士　鶴岡学氏

参加人数　２２人

オ　運転ボランティア養成研修会の開催（岩舟支所）

運転ボランティアの人材を育成するとともに、安全・安心に移動手段の確保という地域の福祉課題に取り組むことができるよう、運転ボランティアに必要な知識と技術を習得するための研修会を開催した。

開催日　　令和４年７月２４日（日）、２５日（月）

場所　　栃木市小野寺ふれあい館、栃木自動車教習所

内容　　関係法令や基礎的な接遇技術、移送の概論や福祉車両の運転等

参加人数　１８人

カ　人権（介護）講演会の開催（地域福祉課）

近年、社会問題化している子どもへの虐待に関する人権問題に対し、理解と認識を深め、市民の人権意識の醸成を図ることを目的に、市人権・男女共同参画課との共催で人権講演会を開催した。

開催日　　令和５年２月２８日（火）

場所　　キョクトウとちぎ蔵の街楽習館　大交流室

講師　　全国手をつなぐ育成会連合会副会長　小島幸子氏

参加人数　　３２人

キ　栃木市民特別講座「まちぐるみで認知症高齢者を支える」の開催（地域福祉課）

市地域包括ケア推進課、栃木市特別養護老人ホーム・養護老人ホーム連絡協議会との共催で、栃木市民特別講座「まちぐるみで認知症高齢者を支える」を開催し、認知症高齢者を支える取り組みの事例や、認知症に関する啓発を行う

予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

ク　実習生の受け入れ（地域福祉課、福祉サービス課）

将来、社会福祉等の専門職として活躍する人材育成の一助とするため、社会福祉士・保育実習生の受け入れを行った。

学校名等	実習期間（実習日数）	受入人数	担当部署
宇都宮短期大学	令和4年11月25日～ 12月27日（9日間）	1人	地域福祉課
國學院大學	令和4年 8月17日～ 8月31日(11日間)	1人	キッズホームとちぎ
栃木短期大学	令和4年11月21日～12月14日(11日間)	1人	

(3)　収集ボランティア運動の実施

ア　エコキャップ回収運動の実施（大平支所、藤岡支所、西方支所、岩舟支所）

世界の子ども達のためのワクチン購入にエコキャップ回収収益金を寄附する団体への寄贈やボランティア団体の活動支援などにエコキャップを活用するため、エコキャップ回収運動を実施し、地域の方々から多くのエコキャップが寄せられた。

（回収量）

大平支所	藤岡支所	西方支所	岩舟支所	合　計
－個	166,850個	189,200個	－個	356,050個

※大平支所は、回収量が少なかったことから、西方支所と合わせて引渡しを行ったため、個数計上なし。

※西方支所は、エコキャップの収益をボランティア団体の活動支援に充てている。

※岩舟支所は、回収したキャップを障がい者施設利用者の分別作業に充てているため、個数計上なし。

イ　アルミ缶回収運動の実施（西方支所）

西方支所でアルミ缶を２５０ｋｇ回収し、その収益金を西方町ボランティア連絡協議会が実施する福祉事業に活用した。

ウ　入れ歯回収ボックスの設置（地域福祉課）

入れ歯に含まれている貴金属のリサイクル収益金を、世界の恵まれない子ども達の支援に活用していただくため、市役所本庁舎、栃木保健福祉センター、本会各支所、各老人福祉センターにＮＰＯ法人日本入れ歯リサイクル協会の回収ボックスを設置した。

(4)　被災地支援及び災害時支援体制強化

ア　栃木市災害ボランティア支援委員会の開催（地域福祉課）

災害時に被災者支援、被災地復旧・復興を迅速かつ効果的に行なうため、栃木市災害ボランティア支援委員会を開催した。

開催日　　令和４年９月２８日（水）

場所　　栃木保健福祉センター

内容　　栃木市災害ボランティアセンターにおけるボランティアセンターの設置場所や運営等に関して協議・検討

参加人数　１２人

イ　栃木市災害ボランティアセンター運営研修の開催（地域福祉課）

災害時にボランティア活動が円滑かつ安全に行えるよう、災害ボランティアセンターの運営に関する知識及び技術の向上を図ることを目的に、災害ボランティアセンター運営研修を開催した。

開催日　　令和４年１２月１１日（日）

場所　　栃木市総合運動公園

内容　　栃木県・栃木市総合防災訓練

　　災害ボランティアセンター設置運営訓練

参加人数　１４人

ウ　災害ボランティア活動者への保険料助成（地域福祉課・各支所）

災害ボランティア活動者を支援することを目的に、ボランティア保険料の助成を行っているが、令和４年度助成はなかった。

エ　職員の派遣（地域福祉課）

関東ブロック都県・指定都市社協災害協定に基づき、職員を被災地に派遣した。（１回）

派遣期間　令和４年１１月８日（火）～１２日（土）

派遣先　　静岡市災害ボランティアセンター（静岡県）

派遣職員　２人

３　学校や地域における福祉教育の推進

(1)　小・中学校福祉授業等への職員等の派遣や体験活動の受け入れ（地域福祉課、各支所）

市内小・中学校等からの福祉やボランティア活動に関する授業実施の相談に応じ、職員やボランティアグループ等の講師派遣、児童や生徒の体験活動の受け入れを行った。

ア　小中学校等への派遣（３６件）

派遣日	派遣先学校名等	派遣の内容
令和４年 ５月　６日（金）	大平東小学校（４年）	車いす体験
５月１３日（金）	大平東小学校（４年）	高齢者疑似体験、アイマスク体験
５月２７日（金）	大平東小学校（４年）	点字体験
６月１０日（金）	大平東小学校（４年）	盲導犬ユーザーさんのお話
６月２９日（水）	藤岡中学校（２年）	車いす体験、高齢者疑似体験、手話体験、点字体験、視覚障がい者体験
７月　７日（木）	国府北小学校（5年）	車いす体験（心のバリアフリー）、福祉用具見学・体験、自己肯定感に関する講座
７月１１日（月）	栃木第四小学校(4年)	心のバリアフリーに関する講座 車いす体験、点字体験

７月１４日（木）	大平南小学校（4年）	ユニバーサルデザインについて
９月　６日（火）	大宮北小学校（4年）	社会福祉協議会とは
９月１３日（火）	大宮北小学校（4年）	赤い羽根共同募金について
１０月１７日（月）	東陽中学校（1～3年）	車いすバスケ体験
１０月１８日（火）	東陽中学校（1～3年）	赤い羽根共同募金について
１０月１９日（水）	東陽中学校（1～3年）	自己肯定感に関する講座
１０月２４日（月）	吹上小学校（5年）	点字体験
１０月２４日（月）	大宮北小学校（4年）	手話体験
１０月２４日（月）	佐野日本大学短期大学	地域福祉の理論と方法Ⅰ 地域のお宝探しについて
１０月２８日（金）	三鴨小学校（４年）	車いす体験、視覚障がい者体験
１１月　７日（月）	寺尾小学校（4年）	社会福祉協議会とは
１１月１４日（月）	栃木第四小学校(4年)	盲導犬ユーザーさんのお話
１１月１５日（火）	寺尾小学校（4年）	手話体験
１１月１６日（水）	大宮北小学校（4年）	福祉用具の見学・体験
１１月２４日（木）	部屋小学校（４年）	車いす体験、視覚障がい者体験
１１月２５日（金）	大宮北小学校（4年）	盲導犬ユーザーさんのお話
１１月２５日（金）	大平中央小学校（5年）	車椅子体験
１１月２８日（月）	寺尾小学校（4年）	盲導犬ユーザーさんのお話
１１月２８日（月）	小野寺小学校（４年）	聴覚障がい者への理解と手話体験
１１月２９日（火）	小野寺小学校（４年）	点字体験
１２月２２日（木）	西方中学校（１年）	認知症紙芝居
令和５年 １月１２日（木）	西方中学校（１年）	障がい者の理解
１月１８日（水）	大平南小学校（4年）	車椅子体験
１月１９日（木）	西方中学校（１年）	赤い羽根共同募金について
１月２４日（火）	家中小学校（５年）	車いす体験、アイマスク体験
１月２７日（金）	大平南小学校（4年）	点字体験
２月　９日（木）	大平中央小学校（4年）	アイマスク体験
２月１６日（木）	大平中央小学校（4年）	点字体験
３月　１日（水）	藤岡小学校（４年）	アイマスク体験

イ　学校以外への派遣（４件）

派遣日	派遣先	派遣の内容
令和４年 ５月２９日（日）	馬宿東自治会	防災に関すること
６月　２日（木）	シルバー大学南校	ボランティアについて
８月２５日（木）	大宮公民館	シナプソロジーで脳を活性化
８月２５日（木）	シルバー大学南校同窓会岩舟支部	岩舟我が事・丸ごと事業について

(2)　児童、生徒のための福祉講座の開催（地域福祉課、各支所）

夏休みを利用して、福祉やボランティア活動に対する子どもたちの理解と関心を高めることを目的に、サマーボランティアスクールを開催した。

	開催日	内容	参加人数	場所
本所	7月21日（木） 22日（金）	【１日目】 高齢者のお話及び昔のおもちゃ体験 【２日目】 地図と測量の科学館、サイバーダイン社の見学	17人	【１日目】 栃木保健福祉センター 【２日目】 茨城県つくば市方面
大平支所	8月4日（木） 5日（金）	【１日目】 点字体験、認知症サポーター養成講座、高齢者との交流 【２日目】 地図と測量の科学館、サイバーダイン社の見学	33人	【１日目】 ふるさとふれあい館 【２日目】 茨城県つくば市方面
藤岡支所	8月18日（木） 19日（金）	【１日目】 地図と測量の科学館、サイバーダイン社の見学 【２日目】 認知症について学ぶ、高齢者との交流 ※１日目は岩舟支所と合同	8人	【１日目】 茨城県つくば市方面 ※岩舟支所と合同 【２日目】 藤岡公民館
岩舟支所	8月18日（木） 19日（金）	【１日目】 地図と測量の科学館、サイバーダイン社の見学 【２日目】 シニアクラブとの交流（軽スポーツ、制作活動他）	10人	【１日目】 茨城県つくば市方面 ※藤岡支所と合同 【２日目】 岩舟健康福祉センター遊楽々館

(3)　蔵の街高校生ボランティアスクールの開催（地域福祉課）

市内の公共施設、社会福祉施設などでのボランティア活動を通じて、高校生の地域やまちづくりへの関心を高めることを目的に、栃木市・市民活動推進センターくららと共催で蔵の街高校生ボランティアスクールを実施した。

実施日　　令和４年７月２９日（金）

場所　　キョクトウとちぎ蔵の街楽習館　大交流室

参加人数　２９人

(4)　福祉教育推進事業の実施（地域福祉課、各支所）

ボランティア活動等の体験を通して、社会福祉への理解と関心を高め、社会参加や社会連携の精神を養うとともに、地域社会・学校・家庭が連携して、地域に密着した福祉教育の推進を図るため、市内小中学校及び高等学校等が実施する福祉教育等の活動経費に対する補助を行った。（幼保４園、小学校２２校、中学校４校、高校３校）

(5)　福祉体験機器等の貸し出し（地域福祉課、各支所）

福祉教育を推進するため、学校や施設に対し、各種福祉体験機器等の貸し出しを行った。

貸出物品	疑似体験用具	点字盤	アイマスク・白杖
件　　数	４件	１件	４件

４　生活困窮者への支援及び成年後見事業の実施

(1)　生活困窮者に対する支援の推進

ア　生活困窮者自立支援事業の実施（地域福祉課）※受託

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却し、社会的・経済的に自立することを目的に、支援対象者の個々の状態に応じた包括的な相談支援事業を実施した。

(ｱ)　支援調整会議の開催

本会とちぎ市くらしサポートセンターが作成する支援計画の内容の検証や関係機関及び関係者等の連絡調整並びに事後評価等の検証等を行うことを目的に、支援調整会議を、年１１回開催した。

(ｲ)　自立相談支援事業（必須事業）

新規相談受付人数　２７１人

プラン作成人数　　１４人

相談内容　　自立相談支援、家計相談、学習支援、一時生活支援、住宅確保給付金

(ｳ)　学習支援事業の実施（任意事業）

生活困窮等の理由から学習環境に課題のある世帯の小・中学生を対象に、学校授業の補習、進学のための学習や進路相談などを実施した。

ａ　短期集中型学習サポート塾（小中学生対象。夏休み期間）

（栃木会場）

実施期間　令和４年８月１日（月）～５日（金）の５日間

実施時間　午前の部：９時～１２時、午後の部：１３時～１６時

実施場所　キョクトウとちぎ蔵の街楽習館

（大平会場）

実施期間　令和４年８月２２日（月）～２６日（金）の５日間

実施時間　午前の部：９時～１２時、午後の部：１３時～１６時

実施場所　ふるさとふれあい館

参加人数（両会場）

小学５・６年生：登録者　８人、延べ参加人数　３２人
中学１・２年生：登録者１７人、延べ参加人数　６０人
中学３年生：登録者１７人、延べ参加人数　５６人
計　　：登録者４２人、延べ参加人数１４８人

b　通所学習（中学生対象）

実施期間　令和４年６月４日（土）～令和５年３月１１日（土）
毎週土曜日（計３９日間）

実施時間　午前の部：９時～１２時、午後の部：１３時～１６時

実施場所　栃木保健福祉センター、ふるさとふれあい館(大平)

参加人数　１・２年生：登録者２５人、延べ参加人数３６６人
３年生：登録者２２人、延べ参加人数５３０人
計　　：登録者４７人、延べ参加人数８９６人

c　通信学習（小中学生対象）

実施期間　令和４年６月４日（土）～令和５年３月１１日（土）

参加人数　通信教育のみ：３８人（小学生２９人、中学生９人）
通信学習と通所学習の併用：９人（中学生）

(ｴ)　学習支援事業参加者や卒業生への支援

学習支援事業参加者と卒業生に対し、地域イベント等のボランティアを周知し、実際にボランティア活動を行うことで、地域福祉の担い手として大きく貢献した。

卒業生ボランティア登録者数　５人

参加人数　延べ５人

活動内容　地域イベントへのボランティア

(ｵ)　家計改善支援事業の実施（任意事業）

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計状況を明　らかにした上で、生活再生に向けた意欲を引き出し、家計の視点から必要な情報提供や専門的助言・支援等を行うことにより家計を管理する力を高め、早期に生活を再生することを目的に、家計相談支援事業を実施した。

プラン作成人数　９人

(ｶ)　就労準備支援事業の実施（任意事業）

被保護者又は経済的困窮の状態にある者であって、一般就労が困難な者に対し、生活習慣の形成のための指導・訓練、就労の前段階として必要な社会的能力の習得及び就労体験や、一般就労のための就職活動の技法や知識の取得支援などを実施し、基礎能力を身につけることで安定的な就労に就き、経済的困窮状態から脱却を図ることを目的に、就労準備支援事業を実施した。

プラン作成人数　２人

(ｷ)　栃木市フードバンク事業の実施

食品ロス削減と地域福祉の増進に資するため、安全に食べることができるにもかかわらず廃棄されてしまう食品及び市場に流通できない食品を個人、

法人及び団体から無償で受け入れ、食糧支援が必要な者、各支援団体や福祉施設等に対し、包括的な相談支援を実施する中で、栃木市フードバンク事業を実施した。

食品受け入れ件数　２３３件

日用品等受入れ件数　３０件

(ｸ)　事業啓発等の実施

地域課題の共有及び担い手の育成を図ることを目的に、イベント等に参加し、市内子育て団体及び地域住民等に対して、生活困窮者自立支援事業啓発のための周知活動等を実施した。

周知回数　　３回

(ｹ)　くらしサポート事業（旧事業名：緊急一時食糧支援事業）の実施

貸付相談者等で一時的な困窮状態であり、生命の維持及び自立に向かうために食糧支援が必要な方に対し、米や缶詰等の食糧を支給した。

また、学習支援事業においても必要とする世帯へ米の配布を行った。

支援件数　　５９８件

支援物品　　米、缶詰、乾麺、レトルト食品、
　　アルファ米等

イ　各種資金の貸し付け・相談（地域福祉課、各支所）

(ｱ)　生活福祉資金の貸し付け　※受託

栃木県社会福祉協議会が低所得者、障がい者、高齢者に対し、各種資金を貸し付ける生活福祉資金の窓口として、民生委員児童委員と連携し、貸し付け申請に必要な支援等を行った。

（令和４年度　新規契約貸し付け内容）

資金の種類	件数	金　額
福祉資金（総合支援資金）	０件	０円
福祉資金（緊急小口資金）	２件	２００，０００円
福祉資金（福祉費）	１件	１６４，０００円
教育支援資金（就学支度費）	０件	０円
教育支援資金（教育支援費）	１件	７８０，０００円

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入が減少し、生活資金が必要な方に対し、緊急かつ一時的な生活維持のための貸し付け相談、申請を行った。

緊急小口資金特例貸付　１３１件　　２５，７００，０００円

総合支援資金特例貸付　１３５件　　６６，１５０，０００円

(ｲ)　社会福祉金庫の貸し付け

生活保護が開始されるまでの間の生計の維持が困難な世帯、生活保護世帯で、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難になった世帯に対し、生活一時金の貸し付けを行い、生活安定の支援を図った。

令和４年度貸付　　３５件　　９９１，０００円

令和４年度償還金　　３７件　　９３４，０００円
（償還金内訳）
過年度貸付分　　６件　　５８，０００円
令和４年度貸付分　　３１件　　８７６，０００円

(ｳ)　高額療養費の貸し付け

高額療養費を貸し付けることにより、療養者世帯の生活安定の助長を図った。

令和４年度貸付　　３１件　　５，６５４，０００円
令和４年度償還金　　２３件　　４，９９８，０００円
（償還金内訳）
過年度貸付分　　１６件　　３，３２１，０００円
令和４年度貸付分　　７件　　１，６７７，０００円

(2)　権利擁護事業などの推進

ア　法人後見事業の実施（地域福祉課）

親族や専門職による後見人が得られにくい方に対し、家庭裁判所の審判を経て、本会が法人として成年後見人等を受任した。

受任件数　７件（うち新規０件、年度中終了３件）
（類型内訳）
後見　６件（高齢者４件、知的障がい者１件、精神障がい者１件）
保佐　１件（高齢者１件）

(ｱ)　法人後見運営委員会の開催

法人後見業務の実施にあたり、受任の適否の判断、後見業務の指導を行い、適正な後見業務を行うため、学識経験者や行政職員で構成される法人後見運営委員会を、年３回開催した。

(ｲ)　法人後見ケース検討会議の開催

法人後見業務の実施にあたり、受任の適否、後見業務の検討を行い、適正な後見業務を行うため、学識経験者、地域包括支援センター、障がい児者相談支援センター、あすてらす・とちぎ等の関係機関の担当者とケース検討会議を、年４回開催した。

イ　権利擁護・成年後見支援センター事業の実施（地域福祉課）※受託

(ｱ)　成年後見制度に関する相談・利用支援

認知症の高齢者や障がい等で、判断能力が十分でない方の権利を擁護するとともに、成年後見制度の利用促進を図ることで、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことを目的に、相談窓口を設置し、助言、情報提供を行った。

新規受付人数　　１０７人
相談延べ件数　　１３７件

（相談内訳）

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数

法定後見関係	52 件	任意後見関係	2 件	法人後見関係	6 件
申立て相談等	2 件	あすてらす関係	15 件	相続・遺言・終活	8 件
親族後見等相談	0 件	専門職への相談	33 件	その他	19 件

(ｲ) 司法書士専門相談

法律問題に関する市民の相談に対し、専門家である司法書士が助言等を行った。

実施日　　毎月第２火曜日　午前９時３０分～午前１１時３０分

場所　　栃木保健福祉センター

相談人数　　３０人

相談延べ件数　３０件

（相談内訳）

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数
成年後見制度	6 件	多重債務	0 件	売買	0 件
贈与	2 件	相続	１１件	財産分与	2 件
遺言	2 件	その他	4 件	借地借家	3 件

(ｳ) 成年後見制度に関わる広報及び啓発

a　成年後見制度・市民後見人啓発事業

講演会の開催

開催日　　令和４年７月３１日（日）

演題　　認知症になった波平さん～契約社会と成年後見制度～

講師　　作家　渡辺哲雄氏

場所　　とちぎ岩下の新生姜ホール　小ホール

参加人数　１００人

b　市民後見人養成講座フォローアップ研修の開催

市民後見人養成講座基礎編の修了者に対し、成年後見制度をより深く習得することを目的に、フォローアップ研修を栃木保健福祉センターで４回開催した。

(a)　研修内容　債務整理（債務整理の種類・手続きと費用等）

開催日　　令和４年７月７日（木）

受講人数　１４人

(b)　研修内容　市民後見人（マニュアルの活用と心構え）

開催日　　令和４年９月２９日（木）

受講人数　１４人

(c)　研修内容　生活保護（生活保護の現状・基準とは）

開催日　　令和５年１月１２日（木）

受講人数　１４人

(d)　研修内容　社会資源（社会資源とは何か）

開催日　　令和５年２月２０日（月）

受講人数　１１人

c　出前講座の開催

成年後見制度の普及啓発を図るため、地域住民や関係機関に対し、出前講座を開催した。

開催日	内　容	依頼団体等	参加人数
令和４年 ４月２２日(金)	成年後見制度他	栃木地区職員研修協議会	３０人
８月１０日(水)	成年後見制度と日常生活自立支援事業について	第一地区社協	３８人
８月１８日(木)	成年後見制度他	国府地区成人学級（ゆうゆう学級）	１０人
令和５年 ３月２３日(木)	後見人で社会貢献したい人の講座	小山市社会福祉協議会	２０人

(ｴ)　成年後見推進委員会の開催（地域福祉課）

成年後見制度の利用の促進に関する法律及び成年後見制度利用促進基本計画に基づき、栃木市における市民後見人制度を含む成年後見制度の推進等に関して必要な事項を検討するため、栃木市成年後見推進委員会を、年３回開催した。

開催日	内　容
令和４年 ７月　１日（金）	栃木市成年後見制度利用促進計画に係る実現に向けた取り組みと今後の指標について 令和４年度成年後見推進委員会協議事項について
１０月　７日（金）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
１２月１６日（金）	令和５年度市民後見人養成講座（入門編・基礎編）カリュキュラムについて 令和５年度成年後見制度・市民後見人啓発事業について 令和５年度成年後見事業年間スケジュールについて
令和５年 ２月２４日（金）	受任調整会議

(ｵ)　市民後見人の選任及び成年後見監督人の受任

市民後見人養成講座（入門編・基礎編・フォローアップ）を受講後、法人後見支援員を務めた後、成年後見推進委員会の承認を得て、宇都宮家庭裁判所栃木支部に成年後見人選任の申立てを行った。その後審判がおり、令和５年３月２５日（土）に栃木県初の市民後見人が誕生した。同時に、本会が監督人に就任した。

ウ　日常生活自立支援事業（あすてらすとちぎ）の実施（地域福祉課）※受託

市内の認知症高齢者、知的障がい者等、判断能力が十分でない方や日常生活に不安を感じている方の生活をサポートするため、専門員２人、生活支援員２８人を配置し、各種の相談に応じるとともに、福祉サービス利用援助や金銭管

理サービス等の支援サービスを実施した。

相談件数　　１，１２６件

訪問調査回数　　３９２回

支援回数　　４６７回

実利用人数　　５６人（うち新規４人、年度中終了１２人）

（内訳）

高齢者１６人、精神障がい者１６人、知的障がい者２０人、

身体障がい者４人

5　介護保険事業及び障がい福祉サービス事業等の実施

(1)　栃木市在宅介護サービス事業所連絡会の開催・運営（福祉サービス課）

栃木市における介護保険事業等の活性化と福祉サービスの一層の充実を図るために設立された栃木市在宅介護サービス事業所連絡会の事務局を担い、市内介護保険事業所の資質向上を図ることを目的に、会員への連絡調整やメールを活用した情報発信、交流や研修会の企画・立案を行った。

(2)　栃木市事業所交流・学習会(丸ごと障介サロン)の開催（福祉サービス課）

栃木市の福祉力の向上と地域共生社会の実現を目指すため、福祉関係者の連携強化を目的に、地域の障がい者や要介護者等の日常生活を支える介護保険事業所と障がい福祉サービス等事業所間の情報共有と相互理解を図る場として、栃木市事業所交流・学習会（丸ごと障介サロン）の開催を予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(3)　居宅介護支援事業所連絡会の開催（大平支所）

大平・藤岡・岩舟地区の居宅介護支援事業所を対象に情報提供（年５回）を行い、事業所間の情報共有を図った。

(4)　介護保険事業の実施

ア　法人内事業所連絡会の開催（福祉サービス課）

開催日	協議事項等
令和４年 １０月１４日(金)	ヘルパー業務確認会議
１１月２５日(金)	令和５年度予算要望、研修会について
令和５年 ３月　２日（木）	虐待防止 「虐待防止マニュアル」について

イ　介護保険事業職員研修会の開催（福祉サービス課）

より良いサービスを提供し、事業所への信頼や価値を高めるため、介護保険事業職員を対象とした研修会を開催した。（障がい福祉サービス事業職員研修会と合同開催）

開催日	研修内容	参加人数

令和４年 １０月　７日（金） １０月２１日（金）	腰痛予防対策 「腰痛軽減体操」について	５７人
１１月１１日（金）	虐待防止 「障がい福祉サービス事業所等における虐待(不適切対応)防止に向けて」について	４５人
令和５年 １月１６日（月）	コミュニケーション技術 「利用者とのコミュニケーション」について	２９人

※参加者には障がい福祉サービス事業従事職員を含む。

ウ　居宅介護支援事業の実施（大平支所）

介護保険法に基づく居宅介護支援及び介護予防支援業務(ケアプラン作成等)を１事業所（栃木市社協ケアプランセンター）で実施した。

実利用人数　　４１６人
延べ作成件数　４，２３３件
月平均作成件数　　３５３件

エ　訪問介護（ホームヘルプサービス）事業の実施（福祉サービス課、大平支所）

(ｱ)　訪問介護

介護保険法に基づいて、要介護状態の方の居宅における入浴、排泄、食事介助等の身体介護、調理、洗濯、買物等の生活援助を行う訪問介護事業を２事業所で実施した。

		北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用者人数		８８人	１０３人	１９１人
身体介護	派遣回数	１，３４２回	２，９６２回	４，３０４回
	派遣時間	８４０時間３０分	１，７９０時間	２，６３０時間３０分
生活援助	派遣回数	４，７４９回	６，８３３回	１１，５８２回
	派遣時間	４，６６０時間４０分	６，６４６時間３０分	１１，３０７時間１０分
身体生活	派遣回数	１，１４５回	２，０７６回	３，２２１回
	派遣時間	１，２２８時間１５分	２，９３０時間３０分	４，１５８時間４５分

(ｲ)　訪問介護相当サービス

要支援と認定されている方の入浴、排泄、食事介助等の身体介護、調理、洗濯、買物等の生活援助を行う訪問介護相当サービス事業を２事業所で実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	２１人	２４人	４５人
派遣回数	１，４８９回	１，１８５回	２６７４回
派遣時間	１，５１０時間	１，１０７時間	２，６１８時間

	４０分	３０分	１０分

(ｳ)　緩和した基準による訪問型サービス

栃木市総合事業の事業対象者と特定されている方の調理、洗濯、買物等の生活援助を行う緩和した基準による訪問型サービスを２事業所で実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	２７人	１９人	４６人
派遣回数	９５３回	６３２回	１，５８５回
派遣時間	７１５時間１５分	４７５時間３０分	１，１９０時間 ４５分

オ　通所介護事業の実施（福祉サービス課、大平支所、西方支所）

介護保険法に基づいて、入浴サービスや食事の提供、日常動作訓練、その他必要な介助等を行う通所介護事業及び通所型サービス（総合事業）を３事業所で実施した。

	デイサービス福寿園	大平高齢者デイサービスセンターまゆみ	デイサービス真名子
営業日	月～土 （1月1日～3日除く）	月～土 (祝日・12月29日~1月3日除く)	月～土 (12月31日~1月3日除く)
実利用人数	４０人	９９人	２５人
営業日数	３０７日 ※新型コロナウイルス感染者発生のため３日間臨時休業	２９０日 ※新型コロナウイルス感染者発生のため３日間臨時休業	３１０日
延べ利用人数	３，７１１人	６，８７８人	３，２１１人
1日平均利用人数	１２．１人	２３．７人	１０．４人

(5)　要介護認定調査事業（指定市町村事務受託法人）の実施（福祉サービス課）

指定市町村事務受託法人の指定を受け、要介護認定調査業務を実施した。専任の調査員１名を配置し、社協ケアプランセンターのケアマネジャー６名が協力して業務を行った。

栃木市認定調査委託　　５９９件

栃木市外認定調査委託　　１件

(6)　障害者総合支援事業等

ア　障がい福祉サービス事業職員研修会の開催(福祉サービス課)

より良いサービスを提供し、事業所への信頼や価値を高めるため、障がい福祉サービス事業職員を対象とした研修会を開催した。（介護保険事業職員研修会と合同開催）

開催日	研修内容	参加人数
令和４年 １０月　７日（金） １０月２１日（金）	腰痛予防対策 「腰痛軽減体操」について	５７人

１１月１１日（金）	虐待防止 「障がい福祉サービス事業所等における虐待(不適切対応)防止に向けて」について	４５人
令和５年 １月１６日（月）	コミュニケーション技術 「利用者とのコミュニケーション」について	２９人

※参加者には介護保険事業従事職員を含む。

イ　相談支援事業（特定相談支援事業・障害児相談支援事業）の実施（福祉サービス課）

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づいて、サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成等を、１事業所（相談支援事業所　社協とちぎ）で実施した。

	特定相談支援事業	障害児相談支援事業
実利用人数	４３人	１１４人
延べ作成件数	１４３件	３５４件

ウ　障がい者居宅介護（ホームヘルプサービス）事業の実施（福祉サービス課、大平支所）

障害者総合支援法に基づいて、障がい者の居宅における入浴、排泄、食事介助等の身体介護、調理、洗濯、買物等の家事援助、通院時の介護や視力障がい者の同行援護を行う障がい者居宅介護事業を２事業所で実施した。

		北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数		３５人	１１人	４６人
身体介護	派遣回数	１８２回	１６１回	３４３回
	派遣時間	１８２時間００分	８４時間００分	２６６時間
家事援助	派遣回数	２，９７１回	２，２３０回	５，２０１回
	派遣時間	２，９１２時間３５分	２，１８７時間１５分	５，０９９時間５０分
通院介護	派遣回数	０回	１２回	１２回
	派遣時間	０分	４６時間００分	４６時間００分
同行援護	派遣回数	２８７回	４８回	３３５回
	派遣時間	３５２時間３０分	９１時間３０分	４４４時間００分

エ　就労継続支援Ｂ型事業の実施（都賀支所）

障害者総合支援法に基づいて、障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、知識及び能力の向上を図ることを目的に、就労の機会の提供や生産活動等を行う就労継続支援Ｂ型事業を１事業所（就労継続支援センターいちごの郷）で実施した。

実利用人数	１４人
営業日数	２４３日
延べ利用人数	２，８８３人
１日平均利用人数	１１．９人

主な生産活動	折り紙の加工・梱包、古着リサイクル、農作業、小物品等、アクリルたわし、とち介キーホルダー、プラスチック組立、アルミ缶・段ボール回収、ヘアゴム
販売・ＰＲ・交流活動	リサイクル販売・オレンジカフェ・ホームページ・ふくぴーだより・イオン黄色いレシートキャンペーン・栃木県立特別支援学校・公園清掃・障がい者スポーツ大会・ビレッジ収穫祭・わくわく広場
主な行事	調理実習（カレー、しもつかれ）、お楽しみ会（七夕、クリスマス会、節分、雛祭り）、避難訓練、水害時対応訓練、買い物訓練、花見、野菜作り（ゴーヤ・レタス・さつま芋・オクラトマト・かぼちゃ・大豆）、都賀地域のクリーン活動

オ　児童発達支援事業の実施（福祉サービス課）

児童福祉法に基づいて、日常生活における基本的動作や知識技能の習得、集団生活への適応を図ることを目的に、障がいを持った未就学児童の心身の状況や環境に応じた指導、訓練を行う児童発達支援事業を１事業所（キッズホームとちぎ）で実施した。

実利用人数　　５３人
営業日数　　２４１日
延べ利用人数　　２，６１６人
１日平均利用人数　　１０．９人

また、保護者が日常生活で子供にうまく関わることで、子供の行動をポジティブに変えて、日常生活での子育ての困りごとを減らしたり、発達を促したりすることを目的に、保護者のスキルをトレーニングするペアレント・トレーニングを実施した。

実施日数　　１０日
実参加人数　　４人
延べ参加人数　　３８人

6　組織の基盤強化

(1)　理事会及び評議員会等の開催（法人運営課）

ア　理事会

第１回	開催日	令和４年６月３日（金）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長の専決処分事項の承認、令和４年度資金収支補正予算（第１号）、令和３年度事業報告の承認、令和３年度決算の承認、令和４年度定時評議員会の開催、評議員選任候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の開催
第２	開催日	令和４年１０月４日（火）
	場　所	栃木保健福祉センター

回	議　事	会長及び常務理事の職務執行状況について、会長の専決処分事項の承認（令和４年度資金収支補正予算（第２号））、令和４年度資金収支補正予算（第３号）、令和４年度第２回評議員会の開催
第３回	開催日	令和４年１２月８日（木）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	令和４年度資金収支補正予算（第４号）、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会「大平高齢者デイサービスセンターまゆみ」運営規程の一部改正、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会「デイサービス真名子」運営規程の廃止、令和４年度第３回評議員会の開催、評議員選任候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の開催
第４回	開催日	令和５年３月９日（木）　　※議決があったとみなされた日
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長及び常務理事の職務執行状況について、令和４年度資金収支補正予算（第５号）、指定児童発達支援事業所キッズホームとちぎ運営規程の一部改正、令和５年度事業計画（案）、令和５年度資金収支予算（案）、権利の放棄、令和４年度第４回評議員会の開催

イ　評議員会

定時	開催日	令和４年６月２３日（木）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長の専決処分事項の承認、令和４年度資金収支補正予算（第１号）、令和４年度事業報告の承認、令和４年度決算の承認、役員の選任
第２回	開催日	令和４年１０月２０日（木）　※議決があったとみなされた日
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長の専決処分事項の承認、令和４年度資金収支補正予算（第３号）
第３回	開催日	令和４年１２月２０日（火）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	令和４年度資金収支補正予算（第４号）、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会「大平高齢者デイサービスセンターまゆみ」運営規程の一部改正、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会「デイサービス真名子」運営規程の廃止、役員の選任について
第４回	開催日	令和５年３月２３日（木）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	令和４年度資金収支補正予算（第５号）、指定児童発達支援事業所キッズホームとちぎ運営規程の一部変更、令和５年度事業計画（案）、令和５年度資金収支予算（案）、権利の放棄

ウ　監査

開催日　　令和４年５月２３日（月）

場　所　　栃木保健福祉センター

内　容　　令和３年度事業報告、収支決算について

エ　評議員選任・解任委員会

開催日　　令和４年６月２３日（木）

場　所　　栃木保健福祉センター

内　容　　評議員の選任について

オ　事務局会議

開催日　　原則毎月第３月曜日（年１０回　うち、拡大事務局会議２回）

場　所　　栃木保健福祉センター

カ　経営改善プロジェクトチーム会議等

経営改善を図るため、課長以上の管理職に一部係長を加えた職員で構成されるプロジェクトチームを設置し、月に１回会議を行った。またプロジェクトチームの下部組織として、全正職員を対象にしたワーキンググループ（組織強化・財務強化・事業強化の３部会）を置き、部会ごとに定期的に会議を行った。さらに、経営安定化計画推進の迅速化及び本会の運営上重要な案件で緊急性を要するものの早期着手解決を目的とした重点テーマ別検討部会を開催し、懸案の事業等の方向性を協議検討することで共通認識を図った。

キ　係長会議

開催日　　原則毎月第４金曜日（年９回）

場　所　　栃木保健福祉センター

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、議題が無い月は開催しなかった。

(2)　社協会員の募集（法人運営課、各支所）

住民参加の促進と地域福祉の充実のため実施している「社協会員制度」について、自治会や地区社会福祉協議会の協力を得て、次のような実績を上げた。（普通会費１口５００円、特別会費１口３，０００円）

ア　普通会費

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合　計
加入件数	16,948 件	8,280 件	4,288 件	3,283 件	1,504 件	4,692 件	38,995 件
加入口数	16,948 口	8,280 口	4,292 口	3,283 口	1,579 口	4,692 口	39,074 口
金額	8,474,490 円	4,140,400 円	2,146,000 円	1,641,500 円	789,350 円	2,346,000 円	19,537,740 円

イ　特別会費

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合　計
加入件数	758 件	49 件	43 件	65 件	54 件	121 件	1,090 件
加入口数	830 口	53 口	48 口	87 口	65 口	121 口	1,204 口
金額	2,499,000 円	159,000 円	146,000 円	266,000 円	197,000 円	369,000 円	3,636,000 円

(3)　寄附金の受け付け（法人運営課）

本会運営資金の確保や住民参加による地域福祉の推進を図ることを目的に、各種寄附金を受け付けた。また、福祉基金の利息を地域福祉事業に活用した。

区　分	件　数	金　額
福祉基金	７４件	１，８８８，７９１円

マイクロバス	１６件	９５，０００円
生活困窮	１９件	２４１，１００円
運営資金	０件	０円
一般物品	６８件	－
生活困窮物品	２２０件	－
計	３９７件	２，２２４，８９１円

(4)　経営安定化計画評価委員会の開催（法人運営課）

経営安定化計画に掲げる取組みの進行状況を評価し、円滑な計画推進を図っていくため、経営安定化計画評価委員会を開催した。

開催日　　令和４年８月２４日（水）

場　所　　栃木保健福祉センター

(5)　専門性の高い課題への対応強化（各課・各支所）

職員の資質向上を図るため、栃木県や栃木県社会福祉協議会、栃木市などの外部の機関が実施する研修会や講習会に職員が参加した。

(6)　市施設の指定管理

ア　老人福祉センターの管理運営（福祉サービス課）

地域の高齢者に明るく健康的な日々を過ごしていただけるよう、福祉・介護相談や各種講座の開催、レクリエーションの場の提供など、高齢者の健康増進や教養の向上を図ることを目的に、新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、指定管理者として２か所の老人福祉センターの管理･運営を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用人数はコロナ禍前に比べ減少しているが、国及び県の指針を基に、市と協議しながら、自主事業を開催し利用者を増やすよう努めた。

また、職員の資質向上のため、長寿園、福寿園合同で認知症サポーター養成講座とＡＥＤ講習会を開催した。

（利用状況）

	長寿園	福寿園
開園日数	２９７日	２９６日
延べ利用人数	１７，９９３人	１１，１６４人

（延べ利用人数の内訳）

	長寿園	福寿園
当日券利用６０歳以上	４，７９７人	１，９９５人
一　　般	３５６人	４５人
市外居住者	１７人	８人
回数券利用６０歳以上	７，８７６人	３，６８７人
一　　般	１１０人	２２人
市外居住者	１０人	０人
減　免　者	１，７２１人	４，１０１人
障がい者等	３，０５７人	１，１６４人

小学生以下	２０人	１４１人
団　　体	２９人	０人
どまんなか協定該当者	０人	１人
無料開放日利用者（県民の日、敬老の日）	１２２人	５８人

（主な事業）

		長寿園	福寿園
マッサージ	実施日数	東日本台風による水没のため撤去	２９６日
	延べ利用人数	―	４，６２６人
ヘルストロン	実施日数	東日本台風による水没のため撤去	２９６日
	延べ利用人数	―	２，１４６人
健康・介護相談	実施日数	随時	随時
	延べ利用人数	１０人	１２人
地域の包括的な相談支援（継続）	実施日数	随時	随時
	延べ利用人数	９人	１人

○長寿園

事業名	内　容	回数	延べ利用人数
機能改善トレーニング教室	肩・腰・膝の機能改善トレーニング	３回	５２人
若返り体操教室	体を動かしながら脳トレーニング	３回	５０人
ヨガ教室	はじめてのヨガ教室	３回	６１人
筋力アップ体操教室	筋力アップ体操	８回	１４５人
新春特別企画	干支BOXティッシュプレゼント	１回	１００人

○福寿園

事業名	内　容	回数	延べ利用人数
ハンドトリートメント教室	手のマッサージ	２回	１２人
運動教室	転倒予防のための椅子に座った運動	４回	３７人
元気アップ教室	介護予防の講話及び実技（運動）他	７回	１０５人
新春プレゼント	来場者に飴を配布（１月４日）	１回	４８人

イ　栃木市そのべ児童館の管理運営（福祉サービス課）

児童に健全な遊びの場を提供し、健康増進や情操豊かな心を育むことを目的に、新型コロナウイルス感染防止に留意しながら、各種事業の計画的な実施や利用促進のためのＰＲ活動に努めるなど、指定管理者としてそのべ児童館の管理・運営を行った。

なお、令和４年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の利用制限が設けられたことや事業の中止等により、利用人数はコロナ禍前に比べ減少した。

（利用状況）

開館日数	２９８日
利用人数	５，８９４人

内訳				
幼　児	２，７４１人	大人（保護者）		２，３７８人
小学生（１年生～３年生）	２２０人	団体	子ども	０人
小学生（４年生～６年生）	３８７人		大　人	０人
中学生以上	１６８人			

（主な事業内容）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ぺたぺたひろば(２４回)	２７４人	七夕かざり	６１人
きねんび☆photo（１２回）	１３７人	敬老の日プレゼント作り	６０人
親子(ベビー)ビクス（１０回）	１２５人	ハロウィンパーティー	２６人
こいのぼりを作ろう	４７人	みんなで作るクリスマス	６０人
ふれあい遊び（２回）	１０人	新春福引き	３４人
夏祭り	７５人	フルートミニコンサート	４２人
初めてのお化け屋敷	２８人	その他の事業	９０人
		合　計	１，０６９人

ウ　栃木市栃木第六地区コミュニティセンターの管理運営(福祉サービス課)

市民の自主的で個性的なコミュニティ活動の推進を図るため、指定管理者として施設の管理・運営を行った。

なお、令和４年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の利用制限が設けられたことや事業の中止等により、利用人数はコロナ禍前に比べ減少した。

開館日　　３５９日

利用延べ団体数　　１，１２７団体

延べ利用人数　　１０，００６人

エ　地域活動支援センターの管理運営（藤岡支所、都賀支所）

障がい者に対する創作的活動や生産的活動の機会の提供、日常生活に必要な社会性の訓練、社会との交流促進事業など、障がい者の自立した生活を支援することを目的に、指定管理者として２か所の地域活動支援センターの管理・運営を行った。

	藤岡地域活動支援センター	都賀地域活動支援センター
実利用人数	１１人	４人
開館日数	２４３日	２４３日
延べ利用人数	８９６人	４７８人
１日平均	３．７人	２人
主な行事等	買物訓練、花見、節分、ハロウィン、新年会、クリーン活動（２回）、外出訓練、調理実習（年１３回）、避難訓練（火災（１回）、水害（１回）、地震（１回））、防災講座、園芸体験（グ	買物訓練、花見、調理実習（年５回）、クリスマス会、避難訓練（２回）、水害時対応訓練、七夕、節分、雛祭り、クリーン活動（２回）、園芸体験（グリーンカーテン作成・野菜花作り）、雑巾

	リーンカーテン作成、野菜花作り（８種））、雑巾作り、サロン訪問（４回）民生委員児童委員定例会訪問、フィットネス、ウォーキング体操 ※野外訓練（就労継続支援センターいちごの郷・都賀地活・藤岡地活合同）は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	作り、２施設（就労継続支援センターいちごの郷・都賀地活）交流（自立訓練）、身体障がい者スポーツ大会、ラジオ体操、ウォーキング体操 ※野外訓練（就労継続支援センターいちごの郷・都賀地活・藤岡地活合同）、外食訓練、宿泊訓練（就労継続支援センターいちごの郷・都賀地活合同）等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

オ　大平地域福祉センター（ふるさとふれあい館）管理運営（大平支所）

指定管理者として、施設の管理・運営を行った。

利　用　団　体　　８２団体

利　用　回　数　　１，７７９回

延べ利用人数　　１４，０１８人

カ　西方ふれあいプラザの管理運営（西方支所）

西方地域における概ね６０歳以上の元気高齢者に対し、カラオケなどの趣味活動やレクリエーション、野外事業の実施など、高齢者の介護予防を図ることを目的に、指定管理者として施設の管理･運営を行った。

開　設　日　　月曜日から土曜日（祝日、年末年始除く）

開　設　日　数　　２９１日

実 利 用 人 数　　２５人

延 べ 利 用 人 数　　１，５９７人

延 べ 足 湯 人 数　　５８８人

7　共同募金への協力

自治会等の協力を得て、次のような実績を上げた。

(1)　赤い羽根共同募金（法人運営課、各支所）

目標額　　１５，３９５，０００円

実績額　　１５，３３５，７８２円

（募金内訳）

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合　計
自治会	5,597,808円	2,481,420円	1,335,150円	1,002,700円	540,300円	1,475,900円	12,433,278円
法人募金	584,365円	241,000円	200,000円	224,000円	64,000円	429,377円	1,742,742円
学　校	239,939円	97,613円	63,991円	25,831円	26,291円	24,821円	478,486円
その他	306,065円	15,384円	7,577円	203,568円	16,730円	131,952円	681,276円
合　計	6,728,177円	2,835,417円	1,606,718円	1,456,099円	647,321円	2,062,050円	15,335,782円